

武士の ダンディズム

特別展

ダンディズムポイント1 変わり兜



この兜は、頭の上に羽を広げた蝶々みたいな飾りが付いています。このような兜は「変わり兜」といって、戦国時代末期から江戸時代初期に流行しました。戦場で、敵からも味方からも目立つための目印になるように、このような派手な形になったんだよ！

(クイズ1) 頭の上に派手な飾りをつけた兜のことを、なんと呼ぶでしょうか？



ダンディズムポイント3 岡山が誇る備前刀



日本刀の中でも、主に岡山県東部の長船(現、瀬戸内市)周辺で作られたものを、「備前刀」と呼びます。昔から備前刀は名刀の代名詞となっていて、ステータスの高いものでした。そのため、多くの備前刀をコレクションする武士もいたほどです。



(クイズ3) 今回の展示している日本刀の中で、何時代に作られたものが一番古いでしょうか？

ダンディズムポイント2 江戸時代の甲冑



江戸時代の甲冑には、色々な模様をみることができます。良く見てみると、「愛の印」であるハートマークもあります。実はこれは、動物のイノシシの目の形をさかさまにしたデザインで、「猪目」といいます。

(クイズ2) 今回展示している7つある甲冑のうち、ハートマークがある甲冑は何個あるでしょうか？

ダンディズムポイント4 兜の前立(まえたて)



かぶと ひたい ぶぶん かざ まえたて
 兜の額の部分に付いている飾りを、前立といいます。このトンボは、キバがあることや胴体のくびれ方などが、トンボとドラゴンを混ぜたような感じがしますね。トンボは前にしか進まないことや、別名を「勝虫」ということから、武士に好まれました。

(クイズ4)前立は色々な種類があります。今回の展示の中に、想像上の生きものの前立があります。それは何でしょうか？



かじしょうぞく あかいろ きいろ りゅう えが はで
 これを火事装束といい、赤色、黄色のものをはじめ、中には龍を描いたド派手なものもあります。

(クイズ5)火事の際の火の粉から、目を守るための道具が展示されているよ。それは何でしょうか？探してみてくださいね。

ダンディズムポイント5 火事のときに着る服

えど じだい かじ ぶし
 江戸時代に火事になると、武士は今の消防隊の人のように消火活動を行いました。その際には、燃えにくい材質で作られた派手な服を身にまわっていました。



ダンディズムポイント6 家紋(かもん)のデザイン

ぶし かもん いちぞく
 武士は、家紋を一族のシンボルマークとして大切にしてきました。戦国武将・池田恒興が、織田信長からもらった家紋を池田家は大切に使ってきました。

(クイズ6)池田家の家紋は、昆虫の形をしています。それは何でしょうか？本展のあちらこちらで見かけます。探してみてくださいね。



クイズ6 : あげは蝶
 クイズ5 : 火事眼鏡
 クイズ4 : 龍

鎌倉時代
 クイズ3 : 3個
 クイズ2 : 3個
 クイズ1 : 変わり兜

(クイズの答え)